

1. 一般事項

1) 施工概要

乾式の外壁仕上げは、通気構法とする。

サイディング仕上げとする場合は、次の各号による。

ALC パネル又は押出し成形セメント板（厚さ 25mm 超）等を用いる場合は、各製造所が指定する施工方法に基づいて取り付ける。

- a. サイディング材は、JIS A 5631（複合金属サイディング）に適合するものとする。
- b. 通気胴縁の断面寸法は、サイディング材の厚さは 15 mm 以上、幅は 45 mm 以上とするものは幅 90 mm 以上とするものとする。
- c. 留め付けは、450 mm 内外の間隔で行う場合は、端部より 20 mm 以内の位置に留め付ける。くぎ又はビスを使用する。
- d. シーリング材及びプライマリーシーリング材を用いる目地は、サイディング材のジョイント部に使用する。
- e. シーリング材を用いる目地は、サイディング材のジョイント部に使用する。

サイディング) 又は JIS A 6711:1997 (複合金属サイディング) 等以上の性能を有するものとする。

サイディング材のジョイント部に使用する。

具で留め付ける。くぎ又はビスで留め付ける。くぎ又はビスで留め付ける。

造所の指定するものを使用する。

付きハット型ジョイナー等を使用する。

2) 施工条件

現場の施工条件を記述する。

3) 施工数量

棟	北面	腰水
		開口
		出隅
		入隅
		外壁

厚 18mm	123 m ²

<https://www.sekouya.com>

2. 材 料

材 料 名	規格・仕様など	メーカー
サイディング	JIS A 5422:2002 窯業系サイディング	ニチハ
止め金具		
防水紙		
シール材		
ビス類		

3. 施工方法

1) 防水紙

a. 防水紙の重なり

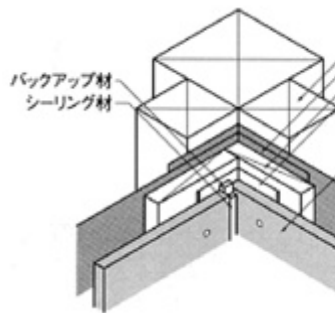
防水紙の重なりは、上下 90 mm 以上とし、左右の重なりは 180 mm 以上とする。

b. 防水紙の留め付け

防水紙の留め付けは、柱又は鉄骨等に、釘又は接着テープ等)にて、各サイディングボードの隅に留め付ける。

c. 出隅、入隅等の張り方

出隅、入隅等は防水紙を二重に張り、(第 2.2.5 図参照)

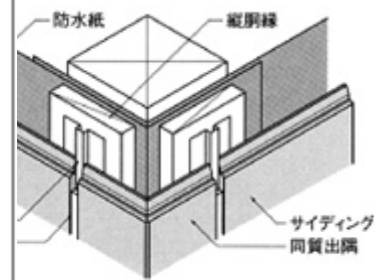


参考図第 2.2.5 図

上(金属系サイディングの場合は 180 mm 以上)ある位置とする。

アンタッカー等(鉄骨下地の場合は両面接合部)より、たるみ及びしわの生じないように施工する。

留め付けて、サイディングを確実に固定する。



防水紙の取り付け方法

d. 積雪地域

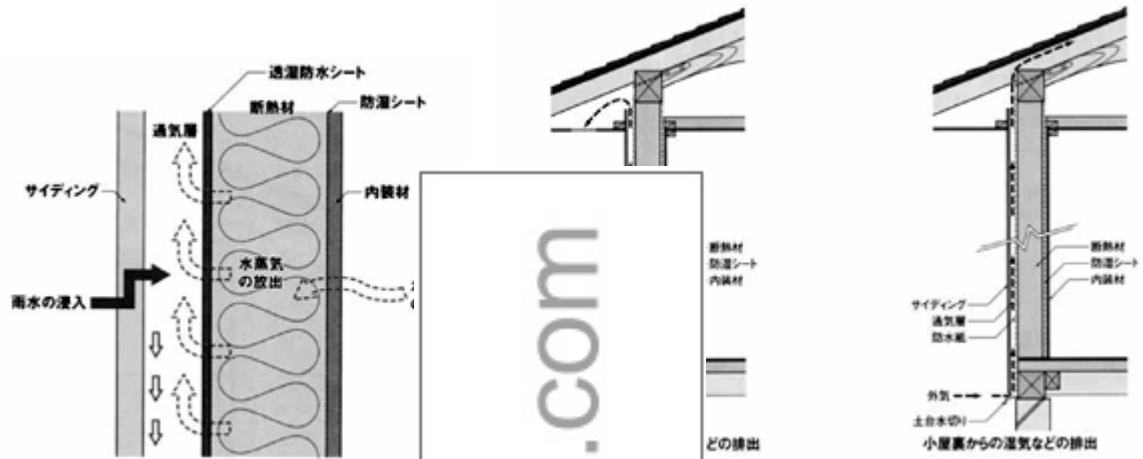
積雪地域においては、積雪高さまで下地の補強を行うものとする。

2) 外壁内通気措置

a. 外壁内の通気措置

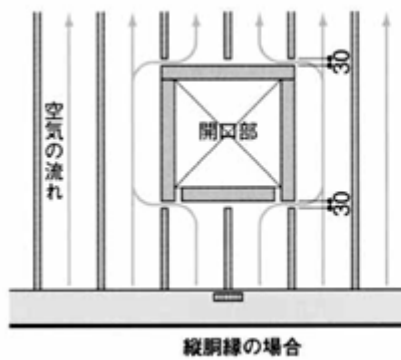
外壁内の通気措置においては、断熱材の屋内側に防湿シートを入念に施工すると共に、屋外側は透湿防水シートを施工した上、上下部が外気等に通じている厚さ 15 mm 以上の通気層を設け、開口部廻りは胴縁のすき間を 30 mm 程度とり、空気の流れをスムーズにする。(第 2.2.6 図参照)

図及び第 2.2.7 図参照)

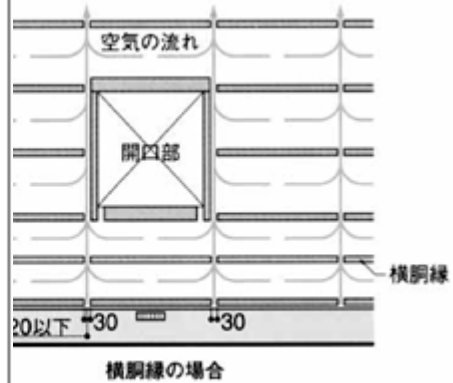


参考

くみ



縦胴縁の場合



横胴縁の場合

参考図第

通気の流れ

b. 通気胴縁

通気胴縁の厚さは、サイディング材の厚さを予測して、くぎの留め込みを確保する。(厚さは 15 mm 以上、開口部に使用するものは)

等により、くぎの引き抜き力が発生するため、有効に働く胴縁の断面寸法を定めること。ただし、サイディング材のジョイント部、)

c. 通気層の構造

小屋裏は、通気が妨げられないように通気の排出口を適切に設け、土台水切りから小屋裏換気口に通気できる構造とする。(第 2.2.6 図参照)

d. 土台水切り

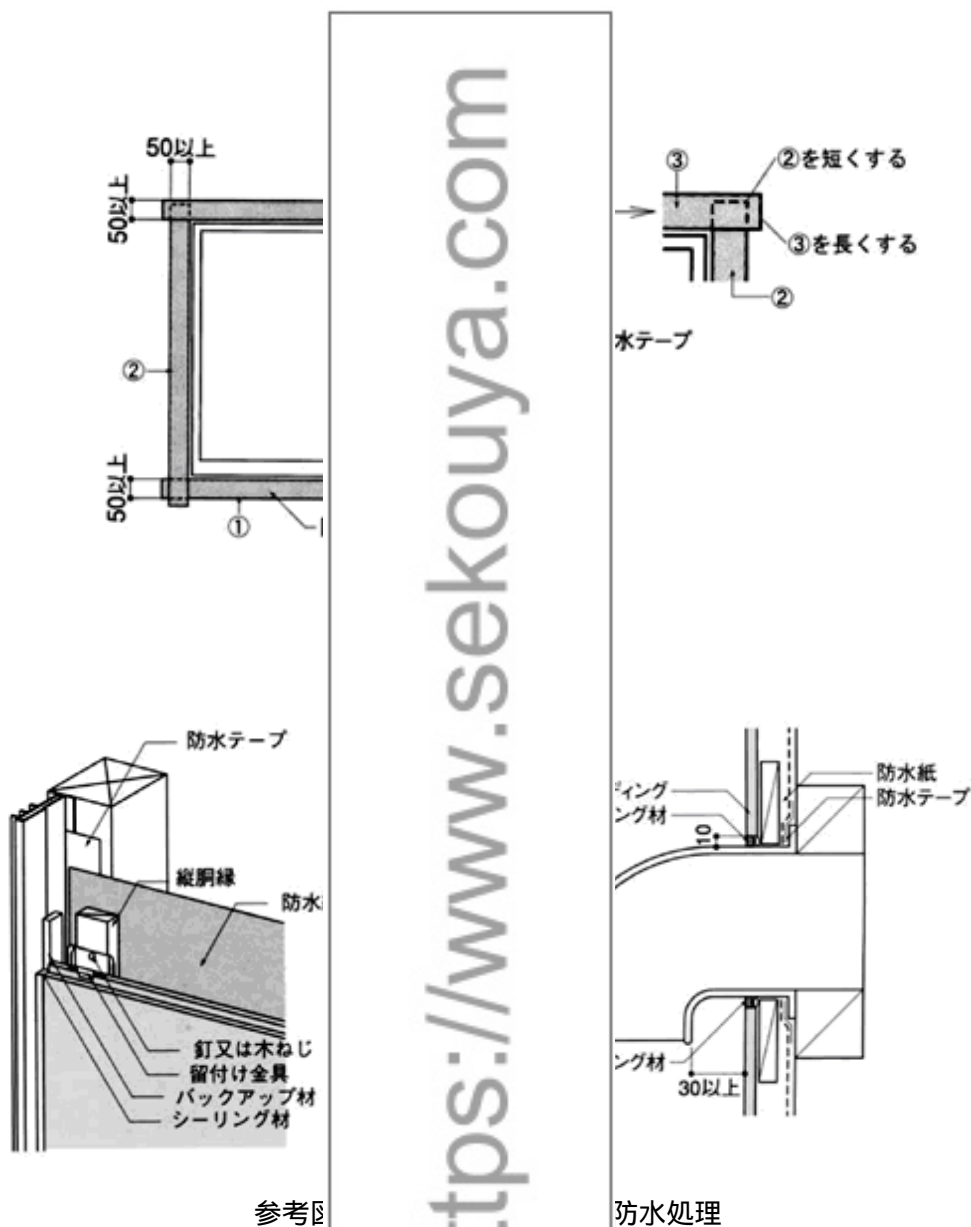
土台水切りは、外壁内通気に支障のない構造のものとして各サイディング製造所の指定する材料とする。

<https://www.sekouya.com>

3) 開口部廻り

a. 防水テープ処理

窓等サッシ四周、換気孔周囲、軒先部雨押さえ金物廻り、バルコニー手すり笠木廻りおよび庇等跳ね出し入隅廻り等の雨水が浸入しやすい部位には、防水テープを張り、サッシの周囲から壁内への漏水を防止する。防水テープは 下部 側部 上部の順に張る。(第 2.2.8 図参照)



b. 開口部上部の納め

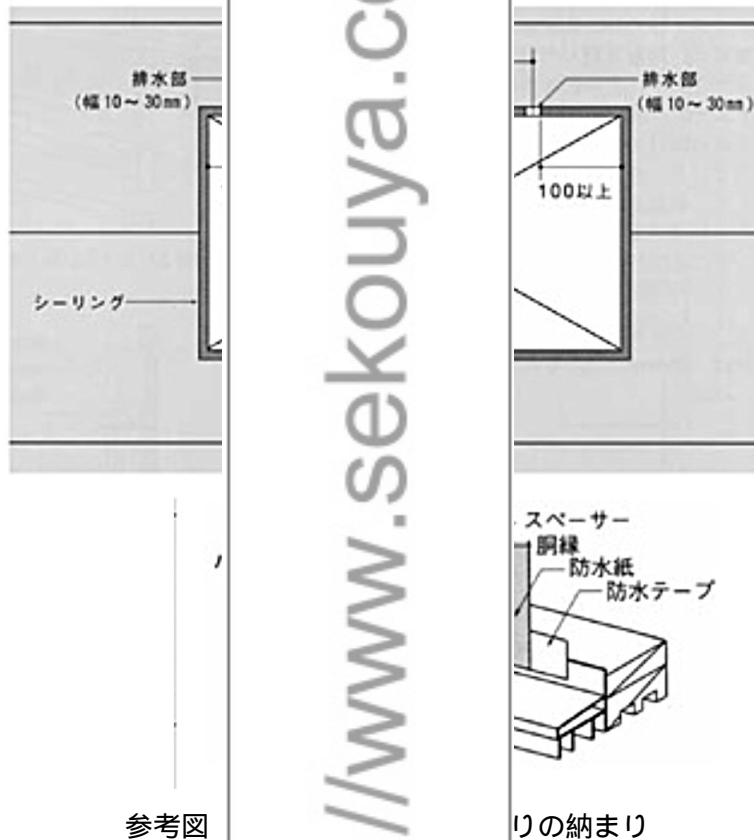
サイディングの接合部を流すための排水部を軒先部以外に排出させるため、開口部上部は雨水や結露水を排出させるための排出部を設ける。ただし、開口部直上に軒、ひさし、ポーチ等が設置されている場合は排出部を設けなくてよい。(第 2.2.9 図参照)

c . シーリング材の施工

- (1) シーリング材の充填は、原則として、吹付けなどの仕上げ前に行う。なお、仕上げ後充填する場合は、目地周囲にはみ出さないようマスキングテープなどで養生する。
- (2) シーリング材の施工は、プライマーを塗布したのち、製造所の指定する時間放置し、指で乾燥を確認しながらシーリング材を速やかに充填する。

(注) 開口部廻りは、漏水事故の発生を防止するため、シーリング材の施工、サイディングの納まり

汚れ等起こし易い部位であるので、防水処理に注意が必要である。



参考図

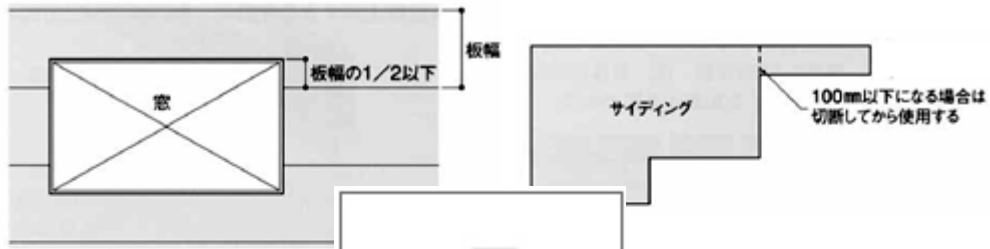
りの納まり

4) サイディングの加工及び取付

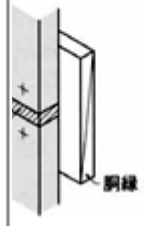
- a . 窯業系サイディング施工上の注意
窯業系サイディング施工は、施工者の技能、資力の向上を図るため、施工者の技能向上のための施工教育を受けた者に、施工を委託する。
- b . 窯業系サイディングの加工

、各サイディング製造所又はメーカー団

窯業系サイディングは小幅物になると折損しやすくなるので、100 mm以下の幅にならないよう割付け及び板取りを行う。また、現場切断面でシーリング材を充てんしない部分は所定の小口防水シーラーを刷毛等で均一に塗布する。(第 2.2.10 図参照)



参考図第



グ取り付け

c. 窯業系サイディングの留め付
 窯業系サイディングの留め付
 合は金具留めとする。

(1) くぎ留め

窯業系サイディングのくぎ
 3本で留め付けることを精
 サイディング端部から 20
 より 20 mm以上) 内側に留
 イング製造所の仕様によ

はくぎ留め又は金具留め、鉄骨下地の場

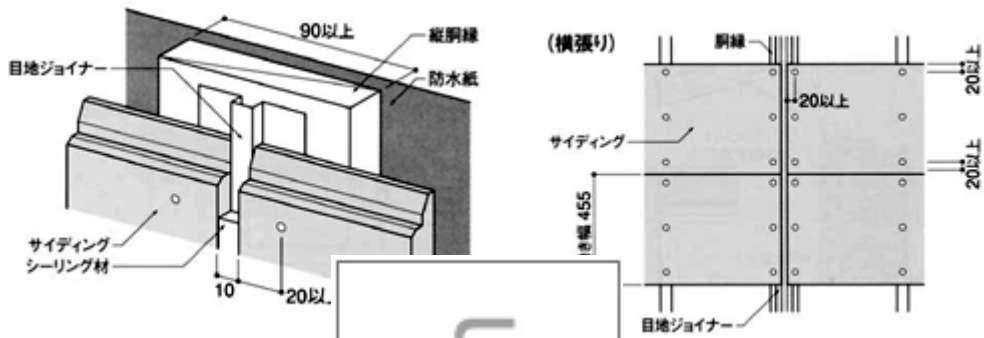
(幅 455 mm に対して両端部および中央の
 450 mm 内外の間隔に留め付けること)
 くり部を除いたサイディングの厚い部分
 こくぎ 2 本留めとする場合は、各サイデ
 1 図および第 2.2.12 図参照)

参考図第 2.

)の留付け位置

<https://www.sekouya.com>





参考図第 2.2.12 図

ント部（横張りの場合）

(2) 金具留め

窯業系サイディングの金具留めとする。

金具は、サイディングの材料にくぎ又はビスで固定する。金具の種類により、留め付けを確認する。（第 2.2.13 図）
 なお、窓まわり、軒天井取付は、くぎ留めの要領は、参考図を「30 mm以上」とする。）

サイディングの厚さは 15 mm 以上を標準

合わせて、各胴縁（450 mm 内外の間隔）材となるべく重ならないようにする。金具

が使用できない部位はくぎ留めとする。鉄骨下地の場合は、同図の「20 mm 以上」

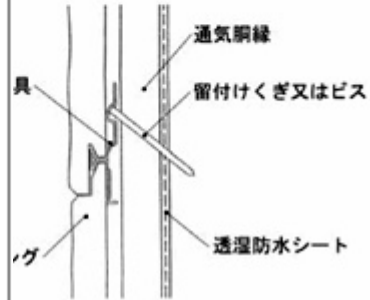
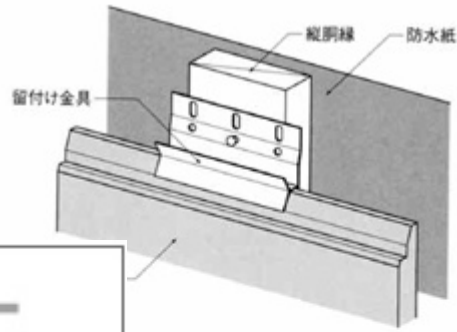
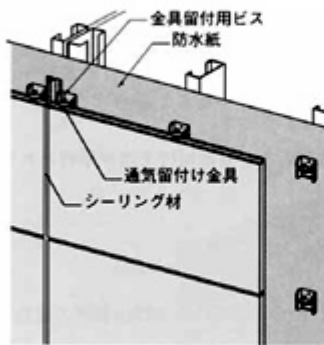
材質	種類
ステンレス 合金メッキ鋼板 アルミニウム	

参考図

タイプ	◎タイプ

金具の種類

<https://www.sekouya.com>



参考図第 2.2.14 図 サ

め付け部（横張りの場合）

d. サイディング材の取り付け

- (1) サイディング材をくぎ留
 - (2) サイディング材の取り付け
- 不陸、目違い等のないよう
~15 mm程度のすき間をあ

めを先行し、この後に留め付ける。
ビス又は専用金具を用い、目地通り良く、
サイディング材と土台水切り等の取り付け部分は、10

5) サイディング材とサッシの取付

a. サッシの選定

サイディングの厚さ、胴縁の
やむを得ず内付けサッシを
付ける。

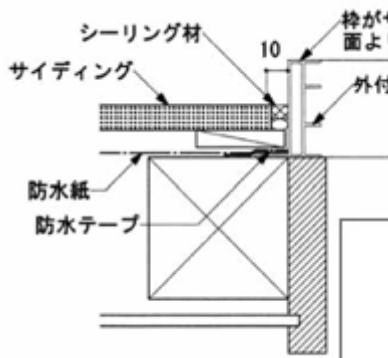
又は半外付けサッシを選定する。なお、
サイディングのできる出寸法がある額縁を取り付

b. サッシ下枠の水切り

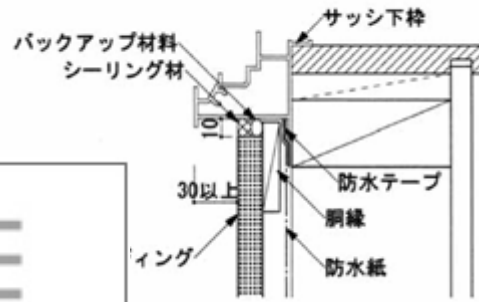
サッシ下枠の水切りの出寸法
サッシ下枠の水切りの出が 30 mm以
の端部は水返しを取り付ける。

サッシ下枠より 30 mm以上あるものを選定する。
サッシ下枠の水切りの出が 30 mm以
、水切皿板を取り付けて確保する。皿板
第 2.2.16 図参照)

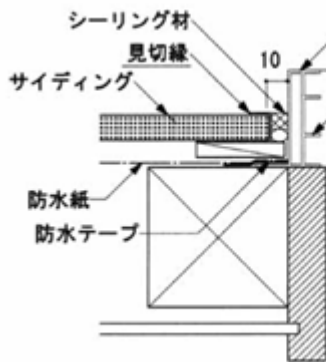
<https://www.sekouya.com>



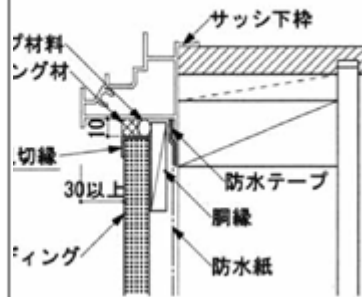
参考図



サイディング



参考図



サイディング

6) 目地部分のシーリング処理

a. シーリング処理

指定プライマーを均一に確保し、
シーリング材を速やかに充填

b. シーリング目地

シーリング材を用いる目地は、
製造所の指定するボンドプレー

60 分間放置乾燥後、6 時間以内に指定

深さ 5 mm 以上を確保し、サイディング製
イナー等を使用する。

7) その他の工法

その他の工法は、各サイディン

ものとし、特記による。

<https://www.sekouya.com>

自主検査記録

サイディング張りに伴う施工不良を防ぐため、自主検査記録の実施を行う。

所有者（予定）

邸

自主検査記録（サイディング張り）

住所

項目	内 容		備 考
材料	<ul style="list-style-type: none"> 窯業系サイディング （・メーカー名 変成シリコン系シー （メーカー名 プライマー（・ 透湿防水シート 下ぶき 	https://www.sekouya.com	<ul style="list-style-type: none"> その他（ ） ） ） 商品名 ） ルト 430（20kg） ）
下地胴縁	<ul style="list-style-type: none"> 使用材（木造下地 寸法（厚さ mm C形鋼 × × サイディングのジョイ 胴縁の不陸/仕上がり 積雪地域の場合下地の 		<ul style="list-style-type: none"> ） ） mm） mm・無し、処置 ）
防水紙	<ul style="list-style-type: none"> *張り方（縦張り・横張 *重ね代（縦 mm、 *防水紙の破損/たるみ（ 		<ul style="list-style-type: none"> mm、入隅 mm） ）
開口部	<ul style="list-style-type: none"> 防水テープの取り付け 		<ul style="list-style-type: none"> mm、無し 処理（ ）
取付け	<ul style="list-style-type: none"> *外壁面全体に反り、波 （無し・有り、処置 *土台水切り等の取り合 		<ul style="list-style-type: none"> が無いか ）
シーリン グ 材処置	<ul style="list-style-type: none"> 施工日時（ 年 目地（幅 mm、深 ボンドブレーカー付き プライマー（ロット番 塗布状況 良・不良、 シーリング材（ロット 充填状態 良・不良、 		<ul style="list-style-type: none"> 候 気温 ） 置 ） 年 月 日迄、 限 年 月 日迄、

登録業者

殿

記入日 年 月 日

現場施工責任者名		住 所	
サイディング施工責任者名		サイディング施工者	
シーリング施工責任者名		シーリング施工者	

<https://www.sekouya.com>